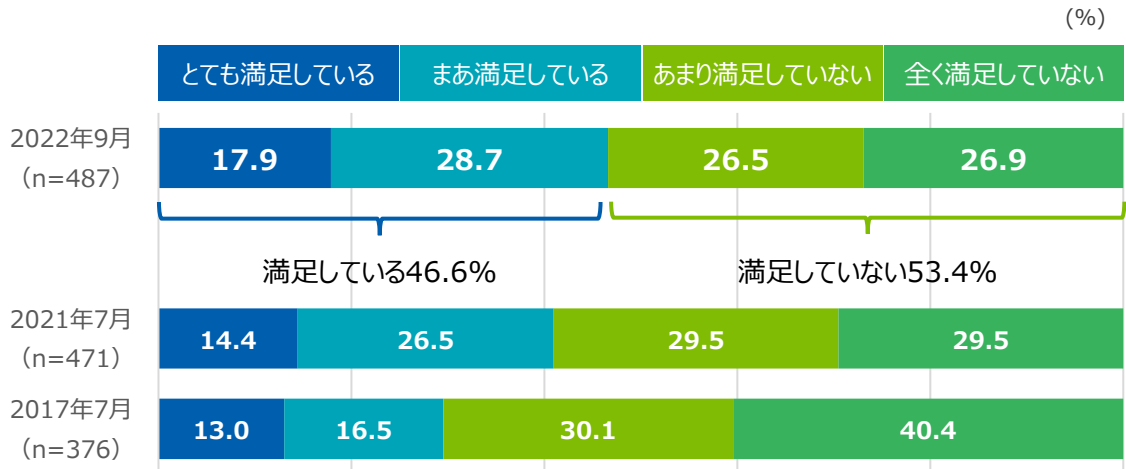


ジョブズコミュニティレポート 2022年10月号

# アルバイト・パートの定着「とても満足」「まあ満足」が46.6% —待遇や働き方の改善で、これからも働きたい職場づくりを—

Q アルバイト・パートの定着状況に満足していますか？最も当てはまるものをお選びください。



人材不足の解消には、新たに人を採用することも必要ですが、同時に、今いるスタッフに長く働いてもらうことも欠かせません。今回は、アルバイト・パートの定着状況への満足度について、経営者や採用担当者に伺いました。

「とても満足している」「まあ満足している」と答えた企業は合計46.6%でした。2021年7月から大きく傾向は変わりませんが、約5年前の2017年7月と比べると、同割合は17.1ポイントと大きく伸びています。業種別では、時短営業の要請などでコロナ影響の大きかった飲食業や小売業も含めて、多くの業種でアルバイト・パートの定着が改善傾向にあることが窺えます。

調査年月	有効求人倍率 (パートタイム労働者、季節調整値) 出典:厚労省 一般職業紹介状況	完全失業率 出典:総務省 労働力調査	パートタイム労働者離職率 出典:厚労省 雇用動向調査	アルバイト・パート募集時 平均時給 (三大都市圏平均) 出典:ジョブズリサーチセンター アルバイト・パート募集時平均時給調査
2017年7月	1.79倍 (2017年7月時点)	2.8% (2017年7月時点)	25.5% (2017年累計)	1,010円 (2017年7月時点)
2022年9月	1.32倍 (2022年8月時点)	2.5% (2022年8月時点)	21.3% (2021年累計)	1,134円 (2022年8月時点)

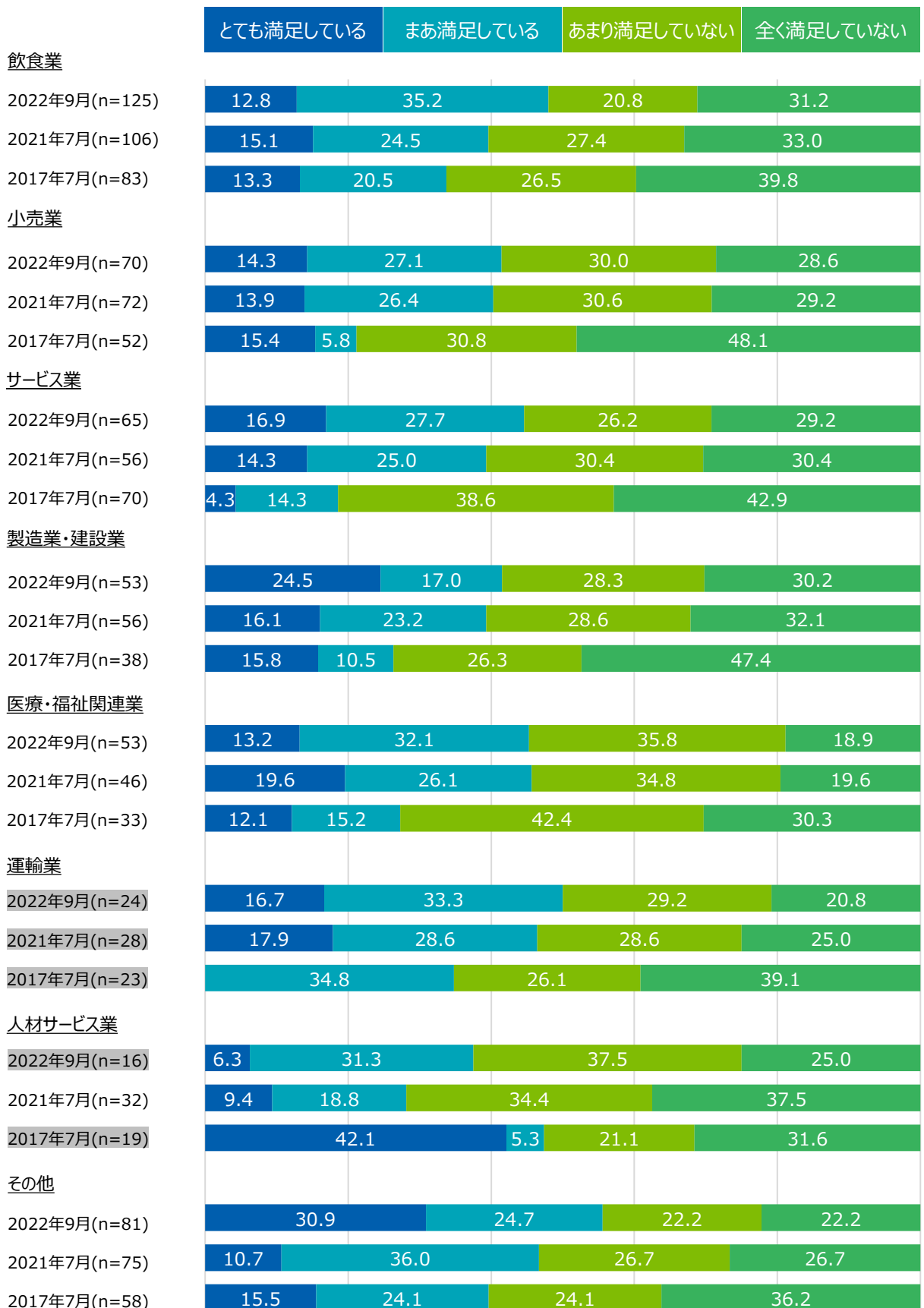
満足度が比較的低かった2017年と現在とで、アルバイト・パートを取り巻く環境を比べると上記の通りでした。国内経済が比較的安定していた2017年は、企業の人材ニーズが旺盛だったことや、現にパートタイム労働者の離職率が現在より4ポイント以上高かったことから、「もっと長く働いて欲しい」という意向が強かったのかもしれません。

コロナ禍前の経済活動を取り戻しつつある中、企業の人材不足感が高まり、各社の採用活動が活発化することが予想されます。待遇面の更なる見直しや、柔軟なシフト調整や働き方の導入などによって、今いるアルバイト・パートが「これからもここで働き続けたい」と思える職場づくりを続けることが必要ではないでしょうか。

- アンケート実施期間：  
2022年9月16日～9月22日
- 有効回答数：487人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員

- 本レポートに関するお問い合わせ先  
株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター [jbrc@r.recruit.co.jp](mailto:jbrc@r.recruit.co.jp)
- その他のアンケート結果はこちらから  
[https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag\\_38.html](https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html)

(%)



※グラフ内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります

※回答数nが30未満の場合は参考値として掲載